

ハートフルランナーズが目指すもの

東京大学大学院 工学系研究科

池上 孝則

◆Heartful Runnersとは

“heartful”という言葉は、英語圏では一般的に用いられない単語であり、辞書にも記載されていません。従って、“Heartful Runners”という表現も存在しません。つまり、Heartful Runnersは造語です。かつて“Walkman”という呼称が、文法的には意味不明の英語でありながら、やがて携帯式の音楽再生端末を表す用語として市民権を得、世界の共通語になったのと状況が似ています。

Heartful Runnersが造語であれば、その意味に創作者の思いが反映されるのは当然の権利だと考えます。私は、“Runners”に「走る人」、「競技者」といった辞書的な意味に加え、この世に生を受けたものがひた向きに生きる姿をイメージしています。また“Heartful”には、お互いの人生を尊重し、励ましあい、助け合う意思を象徴させています。そして、“Heartful Runners”とは、この世に生まれ、そして確実にこの世から去っていくはかない生命体が、お互いに共有した時空間において、運命共同体として生き抜く姿を表現しています。

すなわち、ハートフルランナーズの基本理念を一言で表すならば、「公平平等」、「共存共栄」ということであり、その実現を目指す事業体がハートフルランナーズということになります。

◆仮想測定系システム（Virtual Measurement System：VMS）とは

仮想測定系システム（以下、VMS）とは、従来の情報処理では不可能であった課題を、全く新たな着想に基づき、合理的かつ定量的な処理を実現するシステムです。その応用の範囲は、単に競争競技に限るものではなく、産業、学術、文化、教育等の多方面での活用が見込める画期的なものであり、近未来において世の中に対して決定力を有する情報はVMSから生まれると考えています。

VMSによる効果の一つが“測定値の規格化”です。測定値の規格化とは、「異なる測定系における測定値を基準となる測定系における測定値として変換すること」です。

大学入試センター試験を例に挙げると、試験は受験生の学力の測定と考えられるので、問題の難易度が測定系、試験の得点が測定値に相当します。

センター試験における選択科目では、問題作成の段階で最善を尽くしたとしても難易度により得点の平均及び分布に差が生じます。現在の制度では、選択科目間において平均点で20点以上の差が開かない限り得点調整を行わないことになっています。また、20点以上の差が生じた場合においても、「分位点差縮小法」という根拠に乏しい方法により、20点以上の差を15点程度に縮小する方法を採用しています。つまり、選択科目の当たり外れにより、受験生の間に合否に大きく影響を与える程の不公平が生じているわけです。

VMSをこの事例に適用した場合、各選択科目の得点は同じ難易度の問題における得点に変換されるので、科目間の難易度の差異による不公平の問題を解決することができます。私は、競争を是とする社会が最低限、保障しなければならぬインフラは「機会の平等」と「評価の平等」だと思っています。センター試験の選択科目における得点調整への応用は、こうした評価の平等の実現のほんの一例です。

◆良情報は悪情報を駆逐する！！

現代は、作為に満ちたまがい物の情報で溢れています。リーマン事件やヘッジファンド等による横暴はあってはならないことだと思っています。

ハートフルランナーズが世の中に流通するデータ、指標、数値等（以下、「データ等」）に内在する系統誤差や作為性（以下、「情報の歪」）を除去して提供することにより、従来のデータを無批判的に使用することによって生じる様々な不公平を是正することが可能となります。そして、VMS に対する社会的信頼が確立すれば、今までは情報の歪に対応する手段が存在しなかった為に消極的に看過していたこうした「悪情報」を無力化させることができるでしょう。「悪貨は良貨を駆逐する」とするグreshamの法則風の表現を用いれば、「良情報は悪情報を駆逐する」ということです。

◆ハートフルランナーズが目指すもの

民主主義あるいは自由主義経済体制の維持の前提として情報の正確さ・公平性が担保されている必要がありますが、ハートフルランナーズの事業目的はそれを保証することであり、その効果は全世界に及びます。

ハートフルランナーズは、営利を目的として設立したものではありません。上述のように、看過し難い情報の氾濫に対する対抗手段としての役割を担う存在として位置付けています。現状においては、情報の受け手は情報提供者の作為に満ちた情報に支配されていますが、VMS によって市場に流通する情報の歪を排除することができれば、合理的・客観的に結論を導くことができるようになるでしょう。こうした「良情報」に基づき、成長することでしか問題を解決することができない政治家や経済学者とは全く異なる立ち位置で、共存共栄と持続性のある地球環境の維持の両立する社会が実現できると考えています。

しかし、如何なる理念であっても力の裏付けがなければ実現できるものではありません。ハートフルランナーズの理念を具現化するために、VMS を核としたファンドの設立を模索しています。この（仮称）ハートフルランナーズファンド（Heartful Runners Foundation : HRF）は、寄付に頼る脆弱なファンドではなく、財源的に自立した強力なファンドです。

人口の爆発やエネルギー消費の急増に歯止めがかからない現状においては、近い将来、国家間の衝突が危険水域を越すことになるでしょう。ハートフルランナーズを貫く理念やそれを実現する力としてのファンドの存在が、世の中の流れを変える大きな力になることを願っています。